

## 令和5年度 伴走型小規模事業者支援推進事業 実績報告

通常の経営支援の他、以下の事業を当会議所が独自に企画・開催し、事業所の支援を行った。

### ◆セミナー開催

自社の経営状況や外部環境を分析し、事業計画を策定するセミナーを開催。またインスタグラム等のSNSについて、効果的な活用方法等を学ぶセミナーも開催。

### ◆幡多商談会開催

高知市の「とさのさと」において、2日間にわたって「四国西南地域からお届け！どっさりうまいもん市」を企画・開催。四国西南地域から34事業者（管内4者）が出展し来場された一般の方々に商品を販売。同フェアでは、販売時におけるセールストークや出展ブースの装飾手法等について実践を通して学んだ他、商品に対して消費者から直接評価をいただく等、今後の商品開発における足がかりをつくることができた。

### ◆名物商品開発事業

専門家3名による直接およびオンラインによる商品開発支援を実施。管内から事業所4者が参加し、各自が改良を希望する自社商品を持ち寄り、専門家のアドバイスに耳を傾けた。今後2年程度かけて、商品の完成を目指していく。

### ◆関西圏におけるテストマーケティング事業

前年度、当会議所が実施した上記「名物商品開発事業」に参加した事業所を対象に、専門家を通して商品改良のフォローアップを行うとともに、大阪市のショップにおいて、3ヶ月にわたって当該商品のテスト販売等を行った。フェアでは、商品を陳列販売するだけではなく、出展事業者による直接販売も行い、関西圏における商品評価を確認することができた。また3ヶ月にわたってアンケートを収集し、消費者から貴重な意見をいただくことができた。

### ◆四万十グルメ開発事業

(株)ホテルオークラエンタープライズのシェフを招き、市内飲食店において技術指導を仰ぐとともに、同シェフと新メニューを開発し、個社の経営力向上及び当市の食による地域活性化を図った。

### ◆その他

その他当事業において、当会議所経営指導員能力向上のための研修を企画・参加、また62件の事業計画策定支援、県内全商工会議所との支援情報等共有会議を開催したほか、当会議所が実施する事業所支援について、専門家を招聘して評価を頂いた。

令和6年2月21日

中村商工会議所 御中

(株) プランコンサルティング  
中小企業診断士 茂井 康宏

## 経営発達支援計画の評価について

中村商工会議所が策定した経営発達支援計画（認定時期：令和2年3月、実施期間：令和2年4月1日～令和7年3月31日）にかかる事業評価について、以下の通り報告する。

本年度も、限られた人員で小規模事業者支援に邁進されたことを評価したい。次年度は、以下3点に留意して事業を実施していくこと。

### 1. 全ての事業を連動させること

①事業計画策定セミナー、②幡多商談会、③名物商品開発事業、④SNS活用セミナー等の事業を連動させること。例えば、①で策定した計画の達成のために、②③④の事業で「取引先数」や「一社あたり販売額」を増加させていく。また、各事業をパック化することも検討すること（参考：福崎町商工会の販路開拓マスター講座）。集客については確定申告の指導先に個別で提案することが効果・効率的である。事前にチラシ等の提案ツールを作成したうえで、円滑な移行を促していくこと。

### 2. 販路開拓支援を強化すること

一般消費者向けの即売会に併せて、バイヤー向けの新規事業を実施すること。その際には「場」の提供に加えて、ソフト面のサポートを充実させること。具体的には、30m、3m、30cmを意識した「キャッチコピーの設定」「PRツールの作成」「セールストークの標準化」等についてセミナーや個別相談会等で落とし込んでいく。それにより採用率が飛躍的に向上するはずである。また、経営指導員が専門家のノウハウをしっかりと学んでいくことで、別事業にも応用できるはずである。

### 3. 商品開発の実績をつくること

名物商品開発事業及び関西圏におけるテストマーケティング事業は、継続的に実施していくこと。

なお、商品開発については、正しい手順と手法がある。経営指導員自身がノウハウを学び、事業を改良していくことをおすすめる。また事業を長期的に展開していくためには、成果にこだわってほしい。具体的には、売上高や販路開拓数などの定量評価のほか、コンテストにも積極的に応募すること。受賞商品が輩出されることで、事業の権威付けになり、参画事業者も集めやすくなる。

以上